



みどり市長選 石原氏再選

海老根氏に大差

41投票率

任期満了に伴うみどり市長選は11日、市内24カ所で投票が行われ、即日開票の結果、現職の石原条氏(45)が1万5723票を獲得、新人の海老根篤氏(62)が1万4708票差で圧倒し、再選を果たした。

今回の選挙戦は石原市政への信任投票の色彩が強く、全体的に関心が高まらなかった。投票率は41・08%で、3人で争った。

石原氏の陣営は、投票率の大幅低下が今後の市政運営に悪影響を及ぼしかねないと懸念、総力を挙げて「投票に行つて」と呼び掛けた。石原氏本人は企業や支援者へのあいさつ回りをきめ細かくこなし、行財政改革や市民の一体感醸成を掲げて市政継続を訴えた。

市内で唯一支援組織がなかった笠懸地区に昨年、後援会を発足。前回と同様に自民推薦を得たのに加え、新たに公明の推薦、連合群馬桐生地協の支持も取り付けた。幅広い層への浸透を印象付け、有力な対抗馬の出馬を許さなかった。

「無投票阻止」を掲げて出馬した海老根氏は、夫婦2人の選挙運動を展開した。遊説や街頭演説で「桐生市との即時合併」などを主張し、現職への批判票の取り込みを狙ったが、十分な共感を得られず、有権者に浸透しなかった。

「前向いて市政を」

石原氏

午後8時半すぎ、笠懸町の選挙事務所にて「当選」の知らせが入ると、集まった支援者約300人から大きな拍手がわき起こった。

石原氏は支援者の祝福を受けながら事務所内のステージに登壇。「当選の報告ができることを心から喜んでいる。これからの4年間、前を向き、上を向いて市政のかじ取りをしたい」と笑顔で話した。



再選を果たし支持者らと万歳する石原氏。11日午後8時45分ごろ、みどり市長選挙事務所で。

みどり市長選開票結果 選管確定

当 15723	石原	条	45	無現
1015	海老根	篤	62	無新
(無効359、不受理0、敬称略)				